

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成29年度）

1. 施設名等

施設名	大分県立総合文化センター(iichiko総合文化センター)	所在地	大分市高砂町2-33
		電話番号	097-533-4000
		ホームページ	http://www.emo.or.jp/
	大分県立美術館	所在地	大分市寿町2-1
		電話番号	097-533-4500
		ホームページ	http://www.opam.jp/

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 所在地 指定期間	公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 大分市高砂町2-33 平成25年10月1日～平成30年3月31日	県の所管部課 (局・室)	企画振興部芸術文化スポーツ振興課 TEL : 097-506-2057
-------	-------------------	--	-----------------	--

3. 施設の概要

設置年月日	平成10年8月1日	※iichiko総合文化センター
設置根拠	大分県立総合文化センターの設置及び管理に関する条例	
設置目的	文化の創造と享受の場を提供することにより、県民の多様な文化活動を促進し、もって個性ある地域づくりと潤いのある生活の創造に寄与する。	
事業内容	①センターの施設及び設備の利用に関すること。 ②音楽・演劇等芸術文化の鑑賞の機会を提供すること。 ③文化に関する情報を収集し、及び提供すること。 ④その他、センターの目的を達成するために必要な事業	
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ iichikoグランシアタ（大ホール1,966席） ・ iichiko音の泉ホール（中ホール 710席） ・ iichikoアトリウムプラザ ・ リハーサル室・練習室（9室）、映像小ホール、県民ギャラリー、会議室（6室） ・ 駐車場（295台） 	
使用料等	※終日利用の料金 ・ iichikoグランシアタ：228,100円～501,800円 ・ iichiko音の泉ホール：99,700円～223,300円 ・ iichikoアトリウムプラザ：5,150円～41,100円 ・ リハーサル室・練習室：3,490円～17,250円、映像小ホール：35,950円、 県民ギャラリー：9,250円～10,800円 ・ 会議室：13,600円～28,900円 ・ 駐車場：最初の30分以内 無料、30分を超え1時間以内 200円、1時間を超え30分ごと 100円、 営業時間外（23時～翌朝8時）※出入庫不可 900円	
閉館日	第2・第4月曜日及び年末年始（12月29日～1月3日）	

設置年月日	平成27年4月1日	※大分県立美術館
設置根拠	大分県立美術館設置及び管理に関する条例	
設置目的	芸術文化創造の拠点として、優れた美術作品の鑑賞及び学習機会を提供するとともに、創作活動及び作品発表等の支援を通じて、県民の感性や創造性を高め、文化を核とした地域力を高めるため。	
事業内容	①美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 ②美術品等に関する調査及び研究に関すること。 ③美術に関する情報の収集及び提供に関すること。 ④美術に関する講演会、講座等を開催すること。 ⑤美術館の施設及び設備の利用に関すること。 ⑥学校及び他の美術館、博物館その他の文化施設等との連携に関すること。 ⑦その他、美術館の目的を達成するために必要な事業。	
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1階 展示室A アトリウム ミュージアムショップ モバイルカフェ ・ 2階 アトリエ 研修室 体験学習室 カフェ ・ 3階 展示室B コレクション展示室 ・ 屋外駐車場（143台、24時間利用可） 地下駐車場（107台、8時～23時） 	

使用料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観覧料（コレクション展）：200円～300円 ・ 展示室A：9,250円～37,000円（終日） ・ 展示室B：9,250円～37,000円（終日） ・ アトリウム：4,800円～19,000円（終日） ・ 研修室：1,200円（1時間） ・ アトリエ：1,200円（1時間） ・ 駐車場：最初の30分以内 無料、30分を超え1時間以内 200円、1時間を超え30分ごと 100円、営業時間外（23時～翌朝8時）※出入庫不可 900円
閉館日	原則として無休（館内点検等のための臨時休館を除く）

4. 目標指標の達成状況
iichiko総合文化センター

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
ホール年間利用率(%) ※グランシアタと音の泉ホールの利用率の合計を2で除した数	平成26年度	87.0	84.3	96.9%
	平成27年度	87.0	85.6	98.4%
	平成28年度	87.0	86.1	99.0%
	平成29年度	87.0	88.0	101.1%

大分県立美術館

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
来館者数(人)	平成27年度	500,000	642,505	128.5%
	平成28年度	500,000	434,518	86.9%
	平成29年度	500,000	648,223	129.6%

5. 施設の利用状況
iichiko総合文化センター

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成26年度	9,076	23,441	17,952	22,879	28,808	26,319	
	平成27年度	22,066	15,599	14,768	19,101	21,228	15,778	
	平成28年度	8,375	15,638	20,574	19,103	23,912	17,755	
	平成29年度	20,101	23,820	15,661	17,837	16,472	19,634	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成26年度	22,358	26,666	15,856	15,123	15,037	27,908	251,423
	平成27年度	22,520	33,206	21,114	13,101	19,518	21,713	239,712
	平成28年度	29,040	25,642	23,389	16,332	13,061	21,041	233,862
	平成29年度	29,734	22,488	23,402	9,992	11,040	25,327	235,508

大分県立美術館

利用者数(人)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成27年度	19,275	77,701	94,066	70,289	138,932	44,223	
	平成28年度	17,010	28,863	30,019	33,660	52,939	36,119	
	平成29年度	28,818	39,115	28,048	95,749	188,184	56,172	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成27年度	42,233	33,397	29,969	32,437	33,634	26,352	642,508
	平成28年度	48,196	37,045	34,356	45,760	38,857	31,694	434,518
	平成29年度	46,384	32,461	29,779	41,275	33,982	28,256	648,223

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	<p>iichiko総合文化センター</p> <p>①施設利用者アンケート(H30年3月実施):704団体(個人を含む)うち287団体回答(回収率40.8%)</p> <p>②自主公演開催時に公演ごとにアンケートを実施</p> <p>③メール(専用アドレス)、電話、FAX、意見箱(館内6か所)による意見の受付</p> <p>大分県立美術館</p> <p>①施設利用者アンケート(H30年3月実施):74団体うち55団体回答(回収率74.3%)</p> <p>②施設来館者アンケート(随時):館内2カ所にアンケート用紙を設置し、随時回収</p>
	実施結果	<p>iichiko総合文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用満足度については、「大変満足」「ほぼ満足」を合わせると84.0%となり、利用者の満足度は高い。 ・施設を利用する理由として上位にあげられているのが、「立地がよい」「施設・設備が充実」「料金が適正」「知名度が高い」などである。 ・次回以降の再利用意向は「ぜひ使いたい」「使いたい」を合わせると80.9%であり、高い再利用意向を得ている。 <p>大分県立美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用満足度については、「大変満足」「ほぼ満足」を合わせると92.6%となり、利用者の満足度は高い。 ・施設を利用する理由として上位にあげられているのが、「立地がよい」「知名度が高い」「施設・設備が充実」「サービスが良い」などである ・次回以降の再利用意向は「ぜひ使いたい」「使いたい」を合わせると94.5%であり、非常に高い再利用意向を得ている。
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
大規模公演時に満車になると行き場所がない。(センター)		OPAM駐車場案内表示、センター・美術館共通駐車場チラシ作成、混雑時誘導等を行った。
会議室の通信環境がよくない。(センター)		会議室前ラウンジにはこれまでも無料Wi-Fiサービスなどはあったが、会議室内での多様な利用に対応できるようWi-Fiルータを設置した。
分煙環境を整えて欲しい。(センター)		楽屋口に分煙ルームを残して会議室前ラウンジやOASISひろば外構部の喫煙所を撤去し、分煙環境を充実した。
クレジットカードを使えるようにして欲しい。(美術館)		クレジットカード決済システムを導入。平成30年度から運用開始。
展示室内で写真を撮りたい。(美術館)		所有者等と可能な限り撮影許可の交渉を行い、北大路魯山人展やイサムノグチ展などでは撮影可能な作品を提供することができた
コレクション展の解説文の文字が小さい。解説文の位置が低く見にくい。トイレへの案内がわかりにくい。(美術館)		案内板の増設、表示文字の拡大をはじめとする改善に取り組んだ

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<p>① iichiko総合文化センターと美術館の管理業務に関して、それぞれの施設の特殊性を考慮すべき業務を除き、清掃、駐車場等警備、植栽管理等の業務を一括で発注し、スケールメリットを活かした最適な方法で委託した。</p> <p>② iichiko総合文化センター1階のインフォメーションでは、施設の予約、チケット販売、友の会の入会などiichiko総合文化センターのサービス窓口としてワンストップで対応することはもとより、美術館の企画展の前売券を販売するなど、両施設で連携したサービス提供に努めた。</p> <p>③ iichiko総合文化センターでは大分県立美術館の、大分県立美術館ではiichiko総合センターの専用チラシスタンド設置、美術館連絡通路に展示ポスターを設置など、両施設の連携による情報提供体制の強化に努めた。</p> <p>④ iichiko総合文化センターと大分県立美術館共通を中心に県内の芸術文化に広く親しんでもらうための「大分県芸術文化友の会:びび」について会員拡大に取り組むとともに、様々な芸術文化関連情報の発信やチケット割引等各種サービスの提供を行った。</p> <p>⑤ iichiko総合文化センターで定期的に美術館への誘導を館内放送し、互いの施設の利用促進を図った。</p> <p>⑥ 両施設の駐車場について、片方が混雑した際の誘導を徹底し、効率的運営に努めた。</p> <p>⑦ 施設と駐車場の一体的利用の促進を図るため、練習室利用者を対象に駐車場利用料金割引券を提供するサービスを継続するとともに、会議室・アトリウムプラザ・県民ギャラリーの利用者にも範囲を拡大した。</p> <p>⑧ 会議室内での通信環境向上のため、Wi-Fiルータを設置したほか、経年劣化により痛んでいる設備を更新し、利用者が気持ちよく利用できるように環境整備を実施した。</p>
-------------	---

	<p>⑨ ミュージアムショップでは事業者と企画・開発を行なってきたオリジナル商品の販売を、カフェでは開催中の企画展と連携したメニューの提供を行なった。</p> <p>⑩ OPAM入館者150万人突破を記念して、期間限定でコレクション展の入場者にオリジナルポストカードを配布した。また、お正月期間中、カフェで利用できるサービス券発行を行った。</p> <p>⑪ より美術館を楽しんでいただけるよう、美術館来館者に対して建物や展示物を紹介する、「OPAMサポーター館内ガイドツアー」を月曜日と木曜日に実施した。</p>
<p>イベント等の充実</p>	<p>【芸術文化ゾーン】</p> <p>① 8月に開催した「Tanavata Starlight Express 2017」では、iichiko総合文化センターアトリウムプラザや市内中心部商店街を会場として、アート・パフォーマンスなどが融合した事業を実施した。</p> <p>② 12月に開催した「HEart of Christmas! 2017」では、県立美術館とiichiko総合文化センターを核とした「芸術文化の拠点」から、ネットワークづくりと賑わいづくりのため、商店街等と一体となって、アート、パフォーマンスなどが融合した事業を実施した。</p> <p>③ 平成30年度に開催される国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の機運醸成等を図ることを目的としたアートシーン創出事業を県から受託し、「ReLIFE@おおいたプロジェクト」や「OASISスプリングステージ」など15本のアート関連イベントを美術館及びiichiko総合文化センターで開催した。</p> <p>【総合文化センター】</p> <p>① オペラ、バレエ、オーケストラ、室内楽、ミュージカル、演劇、歌舞伎等の伝統芸能を柱とし、年間を通じて、幅広いジャンルに質の高い舞台公演を財団の企画により実施している。特に29年度の新たな取組として、幅広い愛好者を持つ吹奏楽と、室内楽ではチェンバロの巨匠・小林道夫、若手実力者ウェールズカルテットによるベートーヴェン弦楽四重奏曲を継続的に取り上げることとした。共同制作オペラとして、東京二期会・愛知県芸術劇場等と共に、英グランドボーン音楽祭提携のオペラ『ばらの騎士』(R. シュトラウス作曲)を上演した。</p> <p>② 結成9年目を迎える「iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ」の活動や8年目となったミュージカル体験ワークショップの開催などにより、芸術文化活動への参加と発表の場を充実させ、心豊かな人材を育成する事業を継続的に実施した。</p> <p>③ 「ワンコインリレーコンサート」に関しては、500円という低価格で様々なジャンルの一流の音楽を楽しむことができる演奏会を年間を通じて5回開催した。</p> <p>④ 歌舞伎やオペラなど鑑賞が難しいと思われるがちなジャンルについて、実演を交えてわかり易く解説するレクチャーを実施し、舞台芸術の愛好者を増やすことができた。</p> <p>⑤ 「ARTS(音楽と美術)が生み出すキッズパーク」を合い言葉に、「アトリウム遊園地」を実施し、約4,000人の親子連れが集まり、大盛況であった。メインステージでは、クラシックコンサートやミュージカル体験、インターナショナルステージなどが展開された。手作りおもちゃコーナーや県産材を活用した積み木(木育)コーナー、美術館企画の「GYOGYOっと水族館」にも多くの人々が詰めかけた。【国民文化祭1年前イベントとして実施】</p> <p>【県立美術館】</p> <p>① 「ジブリの大博覧会～ナウシカからマーニーまで～」をはじめ、県民ニーズに沿った企画展を年間5本開催するとともに、ワークショップや関連イベント、来館者プレゼントなど、常に楽しめる企画を実施した。</p> <p>② 大分県立美術館で所蔵する約5千点の作品の中から選りすぐりの作品を、年間6期に分けたコレクション展を通じて紹介した。</p> <p>③ 空気環境の安定する、春と秋のシーズンに計10日間、ガラス水平折戸を解放した。解放した折戸のそばで、国民文化祭1年前イベントやお茶席を開催するなど、開かれた美術館としてのPRを行った。また、カフェでは、各企画展と連携したメニュー提供等を行った。</p> <p>【文化情報の発信・提供】</p> <p>① 財団機関誌により、iichiko総合文化センターや県立美術館のイベント情報のほか、おおいた国際交流プラザニュース等幅広い情報を発信した。</p> <p>② 月間イベントカレンダー、ホームページ、メールマガジン、JR大分駅デジタルサイネージ、フェイスブック、ツイッター等により、芸術文化に関する情報を発信した。また、商店街と連携し、ポスターの掲示やチラシの配布等、広報活動に努めた。</p> <p>③ 県公立文化施設協議会の会長館として、各施設の主催事業を取りまとめた「ホールナビ」を作成し、ホームページや新聞広告等を通じて県内外に情報発信を行った。</p> <p>④ 総合文化センター、美術館に関する情報提供をマスコミに対して継続的に行なった。</p>

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入額(A)		611,033	794,580	767,769	792,783
内 訳	県からの委託料	344,813	452,367	454,465	454,179
	利用料金	260,750	337,242	307,973	333,289
	雑収入	5,470	4,971	5,331	5,315
支出額(B)		611,033	794,580	767,769	792,783
内 訳	人件費	182,954	212,869	206,973	199,870
	維持管理費	3,824	3,824	2,914	2,462
	事業費	399,175	552,807	532,802	565,371
	iichikoパートナーシップ履行 事業費	24,000	24,000	24,000	24,000
	サービス改善提案事業費	1,080	1,080	1,080	1,080
	その他	0	0	0	0
収支差額(A-B)		0	0	0	0

9. 施設使用料等の収入状況

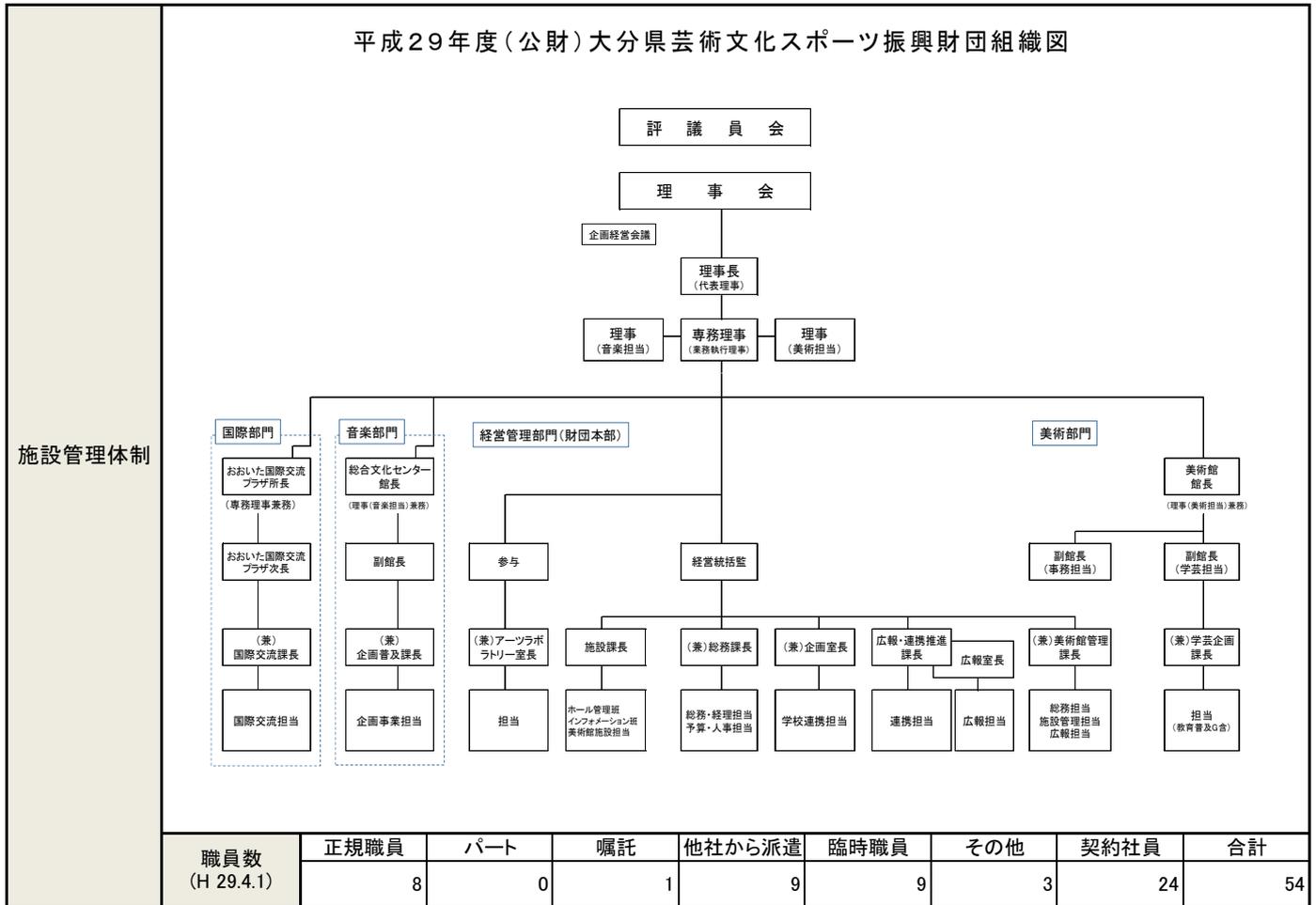
iichiko総合文化センター

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成26年度	27,885	21,960	27,432	21,736	22,032	20,690	
	平成27年度	31,549	21,983	25,387	24,568	22,334	19,826	
	平成28年度	27,326	16,613	21,971	21,317	23,136	19,705	
	平成29年度	33,775	23,475	20,365	22,470	20,343	23,447	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成26年度	18,894	22,691	17,296	19,536	15,524	25,074	260,750
	平成27年度	23,709	21,674	19,806	19,130	15,208	24,120	269,294
	平成28年度	26,673	22,626	19,122	20,282	12,505	23,797	255,073
	平成29年度	21,073	21,494	21,542	17,842	17,843	25,030	268,699

大分県立美術館

利用料金(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成27年度	2,082	4,767	4,622	4,406	8,504	15,653	
	平成28年度	3,968	1,529	6,346	2,422	1,733	2,902	
	平成29年度	7,771	2,894	2,034	9,321	11,685	3,449	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成27年度	7,108	2,476	1,936	1,898	9,828	4,668	67,948
	平成28年度	9,158	3,101	3,351	3,508	9,127	5,756	52,901
	平成29年度	8,613	2,162	2,743	3,201	6,322	4,395	64,590

10. 指定管理者の管理体制



11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	<p>① 大分県公立文化施設協議会の中で、施設運営等に係る共同研修を実施。</p> <p>② 多様な経験による視野の拡大を目指した人事交流の推進として、一般財団法人地域創造へ職員派遣(H28.4月～)を行った。</p> <p>③ iichiko総合文化センターや県立美術館のボランティアスタッフを対象とした研修を行うなど、スキル向上を図っている。また、芸短大との連携協定の一環として、単位取得可能なサービラーニングの学生を受入れ、研修を通じて芸術文化事業に関心のある若者の育成に努めている。</p> <p>④ 美術館開館により、各担当職員が他の美術館職員と作品の貸借等を通じて交流する機会が増え、スキルアップに役立っている。</p>
防災に関する研修・訓練	<p>防災意識の醸成及び迅速な初動体制確保を目的に、地震・火災を想定した防災訓練をiichiko総合文化センターは2回(12月、2月)、県立美術館は1回(3月)実施した。iichiko総合文化センターの2月の訓練では、初めての取り組みとして、演奏会を開催した上で行う「避難訓練コンサート」を実施。</p>
安全対策等	<p>【iichiko総合文化センター】</p> <p>① エレベーターや舞台設備など専門性を有する部分については、業者による定期点検を実施し、異常箇所があれば即座に連絡を取り合う体制を確立できた。</p> <p>② 公演中の停電や機器の不具合発生など不測の事故発生を防止するため、施設・機器の利用前後の点検を実施し、施設利用者や来場者の安全対策に万全を期した。</p> <p>③ 施設の計画的・効率的な維持補修のため、県施設整備課と連携して大規模改修計画を作成して計画的な修繕等を行った。</p> <p>④ OASISひろば21の統括管理者である(株)エフ・ティー・シー大分と催事情報の共有等を図るとともに、適時、共同で施設巡回を実施し、異常箇所がないか確認を行い、異常な箇所が発見されたときは速やかに対応した。</p> <p>【県立美術館】</p> <p>① 警備、清掃、設備保守の委託業者決定後、定期的に連絡会議を開催し、美術館の開館に向け情報共有を図るとともに、館内の安全対策等について意見交換を行い、開館後の施設の管理運営体制を整備した。</p> <p>② 3年目の瑕疵検査を県施設整備課、設計者、建築施工業者立ち会いで実施した。検査の結果、瑕疵が認められた事案については改善を行なった。今後も不具合箇所については、設備をはじめとした第三者委託業者と連携し、情報共有しながら改善要求を行なう。</p>